

プラザニュース

つづきMYプラザ（都筑多文化・青少年交流プラザ）
〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-25-1 ノースポート・モール5階
TEL：045-914-7171 FAX：045-914-7172
E-mail：my-plaza@tsuzuki-koryu.org URL：https://tsuzuki-myplaza.net/newhome/

第170号

なぜ、ボランティアを受け入れようと思ったのですか？

夏休みボランティア体験「はあと de ボランティア」は、子どもたちにとって、地域の中で色々な人とかわり、受け入れ先の方々のあたたかい眼差しを感じながら失敗も、成功も含めて普段できない体験をする機会です。

一方、受け入れ先の大人にとっても青少年とかわることで「地域の可能性」を知り、青少年を理解して、その成長を地域で見守ることの大切さに気づく機会でもあります。受け入れ先の皆さんの、「はあと de ボランティア」に寄せる思いをうかがいました。



えだきん商店会 内野さん

「えだきん」は荏田東小学校の子どもたちとつながりがあり、地域の子もたちと何かできたらいいなと思い、「はあと de ボランティア」を受け入れることにしました。「はあと de ボランティア」に参加する子どもたちの個性は色々ですが、活動する中で地域の中に自然に溶け込んでいると思います。今回、「みんな de カフェ」を受け入れ先として紹介したのは、カフェの利用者は常連の方が多く、普段、青少年と触れ合う機会が少ないので、夏休みだけでも子どもたちと接することで、より元気になってもらって地域の活性化につなげたいと思ったからです。

みんな de カフェ 鈴木さん

娘が地域のボランティアに参加させていただいたのがとても良かったので、お返しの意味でもボランティアは自然に受け入れたいと思いました。時間があれば子どもたちに丁寧なコーヒーの淹れ方も教えてあげたいと思っています。



ナチュラルガーデン 野田さん

水やりや、草むしりを少しやってもらいたいと思っています。無農薬でお花を栽培していて、土の中にはたくさんの生き物がいます。命の共存、命の循環を、花の世話を通して子どもたちに伝えたいと思います。



「はあと de ボランティア」の
ちゅうこうせい こくさいこうりゅう
中高生がつくる国際交流イベント

知ろう！遊ぼう！つながろうフェスタ

おまつりです。だれでも参加することができます。
見たり、聞いたり、つくったりして楽しめます。

いつ

2022年8月5日(金)

ばしよ

なかまちだいちく
仲町台地区センター

じかん

10:30~14:00

- やってみよう！プログラミング
- つくってあそぼう！世界のクラフト
- みんなでトライ！日本の遊び
- いろんな国のレシピをもらおう！かんたん家庭料理 など
※くわしくは、チラシ・ホームページをごらんください。



(株)日本住情報交流センター 鈴木さん

今年初めてボランティアの中高生を受け入れます。当日は、地域の方に参加していただくイベント補助です。暑いですが、イベント参加者に楽しんでいただけるように、お手伝いをお願いします。また、ボランティアに参加する中高生にとって生活の三大要素でもある「住」について少しでも身近に感じる機会になればと思っています。



WELCOME TO CHIGASAKI ELEMENTARY SCHOOL

6月24日「第9回都筑・ボツワナ交流児童画展」にむけて、茅ヶ崎小学校3年生を対象に国際理解教室を開催しました。当日はボツワナ大使館のホツィリエネ・モラク大使、カテホ W ペレー等書記官と量 昌子さん、そして、佐藤都筑区長が来校され、子どもたちに向けてボツワナについてのお話や、温かいメッセージをいただきました。

モラク大使からのメッセージ

世界には言葉も、人種も、環境も違う人たちがいます。大切なのは、お互いのことを知り、理解してコミュニケーションをとることです。きょうは、皆さんはボツワナについて勉強をします。そして、皆さんと絵の交換をするベン・テマ小学校の子どもたちも、日本について勉強をします。また、皆さんが描いた日本のようすを見て、日本についての色々なことを知ります。それもコミュニケーションの一つです。もしかしたら、言葉よりも、よく伝わるかもしれません。皆さんの絵を楽しみにしています。



カテホさん・量さん・モラク大使・佐藤区長

子どもたちの感想

ぼくはボツワナに、オカバシゴという世界最大の場所があることにびっくりしました。なぜなら日本は野生動物が少ないからですが、わたしはいつかボツワナのサファリパークに行きたくて野生動物を見てみたいなあと思っていました。

わたしは、野生動物がいないかと聞いてびっくりしました。なぜなら日本は野生動物が少ないからですが、わたしはいつかボツワナのサファリパークに行きたくて野生動物を見てみたいなあと思っていました。



子どもたちは、ダチョウの卵の殻で作った民芸品に興味津々！



感謝の気持ちをこめて折り紙で作った作品を大使にプレゼント！

同じ物が使われたりしていました。また、日本の物がボツワナでも使われていると知って、うれしかったです。もっとボツワナのことを知りたいと思いました。



ボツワナについて、自然・生活・産業など、いろいろなお話を聞きました。

日本とボツワナをくらべて、いてるところがちがうところがありました。たとえば同じところは、子どもたちが学校にかよっていることです。ちがうところは、魚を食わないことです。わたしは、ベンテマ小学校の子どもたちとながよくなりたいです。もっと、ボツワナのことを、べんぎょうしていきたいです。

6月24日にちがさき小学校にボツワナの大 使が来てくれました。ボツワナの大 使は、やさしく、ていねいにおしえてくれました。たとえば、ボツワナから日本に来るには、ひこうきで20時間かかったりとても、かんそうしてる。カラハリさばくある。などのことをおしえてくれました。もうどあいたいです。

わたしたちはボツワナのモラク大使にボツワナのこと、ボツワナと日本のちがいや、同じ所を教えてくださいました。前よりボツワナのことを、くわしく知りました。モラク大使は、リコーダーや、たばきのえんそうと、ボツワナの国歌をひろうしたら、モラク大使がともよごんてくれました。モラク大使にボツワナのいひなことを教えてくださいました。うれしかったです。

7月申込み開始のセミナー・講座

やさしい日本語講座

申込み受付中

多文化共生セミナー

7月11日

申込み受付開始

つづき MY プラザ (都筑多文化・青少年交流プラザ)

開館時間 平日：午前10時～午後9時
土日祝：午前10時～午後6時
休館日 第3月曜日(祝日の場合火曜日)、年末年始
アクセス 市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン「センター北」駅下車 徒歩3分
ノースポート・モール5階

編集後記

夏ボラが始まります。Z世代の人たちは社会課題に関心が高いそうです。他者に思いを馳せ、実際に行動に移している若者たちを頼もしく、羨ましくも思います。色々な話、聞かせてください。 Y.S Y.M



認定特定非営利活動法人 つづき区民交流協会
https://www.tsuzuki-koryu.org

